

# 第6次江南市総合計画市民会議 議事要旨 (第5回 第1分科会 (まちづくり分野・しごとづくり分野))

日 時 平成29年1月18日(水) 15:00~16:40

会 場 消防庁舎講堂

出席者 出席委員9名(1名欠席)

## ■委員

《会長》	加藤 幸治	江南市都市計画審議会委員
《副会長》	宮川 秀男	公募市民
	中村 建岳	公募市民
	粕山 光正	公募市民
(欠席)	川田 圭一	江南市歴史ガイドの会会長
	前田 哲郎	布袋地区鉄道高架・街づくり協議会幹事
	野田 憲一	江南市総合計画策定部会(まちづくり分野) 部会長
	石川 晶崇	江南市総合計画策定部会(まちづくり分野) 副部会長
	大岩 直文	江南市総合計画策定部会(しごとづくり分野) 部会長
	石坂 育己	江南市総合計画策定部会(しごとづくり分野) 副部会長

## ■傍聴者

なし

## ◆議題

### 議題

(1) 基本計画(分野別計画)について

〈配付資料〉

資料1 江南市総合計画市民会議(第3回第1分科会)議事要旨

資料2 まちづくり会議からの意見について

資料3 第6次江南市総合計画の成果体系に基づく主な施策・事業の移動一覧表

資料4 江南市総合計画市民会議(第1分科会)での各柱の検討予定について(第5回~第7回)

## ◆会議結果

### 1 開会

事務局より挨拶。

### 2 市民会議

#### 2.1 報告

(1) 第3回議事要旨の確認について

(会 長) 報告(1)の「第3回議事要旨の確認について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局) ~ 資料1について事務局より説明 ~

(会 長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。

～ 特に意見なし ～

(会 長) 特にご意見がないようですので、次に移ります。

## (2) 江南市まちづくり会議からの意見について

(会 長) 報告(2)の「江南市まちづくり会議からの意見について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局) ～ 資料2について事務局より説明 ～

(会 長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。

(委 員) 戦略計画の評価機関であるまちづくり会議と総合計画市民会議の委員に重複はあるのか。

(事務局) 各種団体の代表者など、重複もあります。

## 2. 2 議題

### (1) 基本計画(分野別計画)について

(会 長) 議題(1)の「基本計画(分野別計画)について」、事務局より説明をお願いします。

(事務局) ～ 資料3、4について事務局より説明 ～

(会 長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。

～ 特に意見なし ～

(会 長) 特にご意見がないようですので、次に移ります。

### (1. 1) 検討した柱の修正確認について

#### ①分野Ⅰ－柱8 住環境について

(会 長) ご意見等ありますか。

～ 特に意見なし ～

(会 長) 特にご意見がないようですので、次に移ります。

#### ②分野Ⅲ－柱2 農業振興について

(会 長) ご意見等ありますか。

(農政課) 委員の皆様からいただいた意見による修正のほか、個別目標①の「認定農業者数」の基準値を、グラフに合わせ、28人から29人に修正しました。

### (1. 2) 柱の検討について

#### ①分野Ⅰ－柱1 環境保全について

(環境課) ～ 分野Ⅰ－柱1環境保全について環境課長より説明 ～

(会 長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。

(委 員) 東京都の小池知事が環境大臣時代に、地球温暖化対策としてクールビズを推進していたが、市では、そのような取り組みは行っているのか。

(環境課) クールビズとして、5～10月は市職員にノーネクタイを推奨しています。

(委 員) 市民の温暖化対策を促進するには、ノーカーデー、クールビズなど、市が自ら実施している取り組みを計画に記載すると効果的だと思う。

(環境課) 直接的ではありませんが、関連する個別計画に、江南市環境基本計画や江南市温暖化対策実行計画を記載しており、これら個別計画中にノーカーデーやクールビズなどは明記しています。進捗状況は、環境審議会で報告しています。

(会 長) 緑のカーテンは、江南市役所でも5℃ほどの温度低減効果があったと聞いたことがあり、実績が十分だと思う。このため、実績値を含め、市が積極的に自ら温暖化対策に取り組んでいる旨を記載してはどうか。また、ホームページに掲載するなど、市民に公表してほしい。

- (環境課) 計画への掲載は難しいですが、環境フェスタ等で、市民の方の取り組みと併せ、小中学校や保育園などの公共施設での取り組みについても結果を公表しています。
- (委員) 全体目標で「日ごろから、省エネや再生エネルギーの導入などにより、環境に配慮して生活している市民の割合」は、基準値が 37.8%に対し、目標値 (H39) が 80.7%と大幅に上昇している。また、個別目標②の「公害苦情件数」は、基準値が 367 件に対し、目標値 (H39) が 146 件と半減以下になっている。その根拠を教えてください。
- (環境課) 全体目標について、過去 10 年では年平均約 3.9%上昇しており、今後も同程度の上昇を見込み、算出しました。また、個別目標②について、公害苦情に対する市民の意識向上を図る啓発を継続・強化することで、めざしたい数値としています。
- (委員) 何か明確な根拠があればよかったのだが。特に、全体目標の目標値があまりに高い気がする。
- (環境課) 全体目標、個別目標②ともに、目標値について再考します。
- (委員) 太陽光パネルの設置に対する補助基数を個別目標とできないか。
- (環境課) 指標は設けていませんが、行政の取り組みに、住宅用太陽光発電システム等の設置費補助について記載しています。あくまで、補助制度は啓発の一環との位置づけのため、補助基数は個別目標にはそぐわないと考えています。
- (会長) 緑のカーテンについて補助制度はあるのか。  
また、国は平成 29 年 4 月より建築物の省エネ化について、取り組みを強化していくことになる。
- (環境課) 緑のカーテンに対する補助制度はありませんが、先着順でアサガオ、ゴーヤの種、肥料を市民に無料配布しています。
- (会長) 壁面緑化について、補助制度はあるのか。
- (委員) 県費による補助制度がある。
- (委員) 先ほど他の委員が言われたように、やはり全体目標の目標値 8 割は大変高いように感じる。
- (委員) 緑のカーテンの取り組み人数を個別目標に入れば、環境に配慮して生活している市民が増えていく根拠になると思う。
- (環境課) アサガオの種など、緑のカーテンチャレンジセットの配布は先着順のため、配布者以外の取り組み人数は把握できません。
- (会長) 子どもの意識が上がれば、大人の意識も上がり、結果的に環境に配慮していると考えられる市民の割合が増えると思う。まずは、子どもの意識を上げる方法を考えたほうがよい。
- (委員) 緑のカーテンは、市役所に来る人が、市の取り組みを見て自分もやりたいと思うのではないか。今後も取り組みを続けていただきたい。  
環境保全対策は、市民一人ひとりの意識向上が重要だ。環境保全に対する作文・ポスター等を各学校から募集して、優秀な生徒を表彰するなどしてはどうか。表彰により応募の意欲がわき、意識向上も図れると思う。
- (環境課) 現在、夏休みなどに環境に関するポスターや作文等を募集しており、環境フェスタにて優秀な児童、生徒を表彰するなど、今後も市民の意識向上を図る取り組みは続けていきたいと考えています。
- (委員) 市民の意識向上を図る啓発とあるが、予算を増やしていくのか。
- (環境課) 啓発の一環として太陽光発電システム設置費補助がありますが、平成 28 年度より、定置用リチウムイオン蓄電システム、家庭用エネルギー管理システム (HEMS) も補助対象に加え、予算額も増額しています。
- (委員) 全体目標で「水質汚濁・騒音・悪臭など公害のない快適な環境で生活していると感じる市民の割合」の数値が記載されているが、快適な環境の意味の捉え方は人によってバラバラだと思う。満足度の精度を上げるため、質問項目を細分化する必要があったのではないか。
- (環境課) 総合計画策定による満足度調査のため、幅広く質問しています。

- (委員) 満足度は、住んでいる場所によっても考え方が変わってくると思うので、快適な環境の定義を統一するのは難しいのではないかな。
- (会長) 細かい項目までの調査ではないので、満足度は荒く出るかもしれない。
- (環境課) 個別計画である環境基本計画では、細かい質問項目でアンケートをしています。
- (会長) 補助制度についてだが、補助による効果検証も必要ではないか。市民に補助するだけで終わってはいけないと思う。
- (委員) 太陽光パネルの導入について、以前は電力会社の買取額が高くメリットも大きかったが、導入する住民が増えたことで買取額は低くなってしまい、メリットが感じられなくなった。そのような中で、いかに導入してもらうか工夫が必要だ。
- (委員) 現状と課題に「生活環境の苦情は多種多様化しており、雑草や屋外燃焼行為等への苦情は年間 300 件を超え」とあるが、公害苦情件数の推移のグラフを見ても、それらの苦情の表記が見当たらない。
- (環境課) 雑草や屋外燃焼行為等への苦情は、「その他」に該当します。
- (委員) 草の焼却は問題ないのか。
- (環境課) 農業による屋外燃焼行為などは、市条例等で例外的に認められていますが、例外であっても近隣から迷惑であるとの問い合わせがあれば、行為者にはやめていただくよう指導しています。
- (会長) 現状と課題に、空き地の増加が苦情の増加につながっていると記載されている。空き地での苦情は何が多いのか。
- (環境課) 雑草苦情が非常に多いです。
- (委員) 雑草苦情数は、農地を含めると 3 倍にもなる。
- (会長) 適切な管理者がない場所は苦情の原因となる。
- (環境課) 今後も、土地の所有者に、管理徹底の依頼等を継続していきます。

## ②分野Ⅰ－柱2 ごみ減量・処理について

- (環境課) ～ 分野Ⅰ－柱2 ごみ減量・処理について環境課長より説明 ～
- (会長) ただ今の説明について、ご意見等ありますか。
- (委員) 現状と課題に、リフューズ、リデュース、リユース、リサイクルの総称である 4R という文言を追記してはどうか。また、大量生産、大量消費の世の中で食品ロスが問題だが、計画ではほとんど触れられていない。何か計画に盛り込めないか。
- (環境課) 4R については、記載を検討します。  
食品ロスについては、個別計画である江南市ごみ処理基本計画の中で、食品ロス削減に向けた取り組みの推進を記載しています。また、今年度の環境フェスタで、フードドライブを試行実施しました。今後は、その取り組みを広げるための啓発をしていきたいと考えており、市民協働の推進に向けて、にその旨を記載しています。
- (委員) 市民はその取り組みをあまり知らないのではないかな。
- (環境課) 市民に啓発していきたいと考えています。
- (委員) 稲沢市で廃棄食品の不正転売をした悪徳業者がいたように、ルールをしっかり決めて行う必要があると思う。
- (委員) 行政の使命に、「火葬施設については、適正で効率的な運営に努める。」とあるが、今後の高齢者人口の増加によっては、火葬場の炉の数を増やさないといけないのではないかな。
- (環境課) 火葬施設は江南市、犬山市、岩倉市、丹羽郡から成る一部事務組合で運営されており、現在は、炉が不足していないと把握しています。まだ、今後の方針は決まっていません。
- (委員) 57 (コウナン) 運動とはどういったものなのか。
- (環境課) 大口町にある現状のごみ焼却場の延命化を図るため、平成 10 年にスタートした取り組みで

す。リサイクルの推進、生ごみの堆肥化などにより、市民一人当たり 57g のごみ減量を目標としています。

(委員) 語呂もよく、スローガンになっていると思う。

(会長) 新ごみ処理施設建設に向けた動きを教えてください。

(環境課) 平成 28 年 3 月に、建設地が中般若町北浦地内に正式決定されました。

(広域ごみ処理施設建設対策室) 現在、地権者の同意取得に向けた取り組みを進めています。

### 3 その他

#### 次回会議日程について

(事務局) 次回第 6 回分科会会議は 1 月 27 日 (金) 午前 9 時 30 分から第 3 委員会室で開催します。

### 4 閉会

(事務局) 長時間に渡りご検討いただきまして、ありがとうございました。第 5 回市民会議 (分科会) を終了します。本日はありがとうございました。

以上